



神の「かたち」として創造された人間の本質と価値を知るためには、その「かたち」が表している「神」の本質について知ることが大切です。

「神」という存在は、すべてにおいて尊いお方です。それは私たちの言葉や価値観では表し尽くせないものです。そのような神の「かたち」として人間は創られたのです。私たちは、人を「こういう人だから」と無意識のうちにはかりますが、そういったことを問う前に大切なことは、一人ひとりの人間が「神のかたち」に創られた存在であるということです。

創造者である神の「かたち」とは、

### ① 神の尊さを表しているということ

“神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」” 26

“御子は、見えない神のかたちであり、すべての造られたものより先に生まれた方です。”

ヨハ11:15

### ② 創造的であるということ

“神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ。」” 28

“神である主は、その土地の土で、あらゆる野の獣とあらゆる空の鳥を形造って、人のところに連れて来られた。人がそれを何と呼ぶかをご覧になるためであった。人がそれを呼ぶと、何であれ、それがその生き物の名となった。” 2:19-

### ③ 関係に生きる存在であること

“神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。” 27

“また、神である主は言われた。「人がひとりであるのは良くない。わたしは人のために、ふさわしい助け手を造ろう。」” 2:18-

<考えてみましょう>

- あなたは自分の価値をどのようなはかりではかることが多いですか。どんな時に肯定的になり、どんな時にがっかりしますか。
- あなたにとって、イエスキリストを救い主と信じたことによって、自分自身の受けとめ方はどのように変わりましたか。今日の三つのポイントにおいてははどうでしょうか。